

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種: DH

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス:) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

宮本先生の技術のすばらしさに驚きました。
歯周病を矯正治療が非外科的処置として行うことがあり、
患者の利益になることにはすばらしいと思いました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

患者のリスクを調べて、それを予測することから治療にあること、
明日からの診療に役立てたいと思います。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

・イベントスに基づいて治療を行うことが大切であること。
アキバではそれが普通であるが、日本ではあまりできていないように思っている。
(インプラントの心配、10% など) イベントスさえ知れば、それを教えることが
できると思う。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

・コラボレーションは、診療の質を向上させることであることは
すばらしいと思います。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

4人の講師のすばらしさばかり感じました。
患者の利益を提案できるように勉強したいと思います。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

	職種: DH
PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？	
・はい(メールアドレス:)・いいえ	

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頰側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』 日本ではインプラントをする場合も患者さんから歯肉の形態など審美的な部分の要求というのがあるが、アメリカでは患者さんの要求がレベル的にも高く、また自分の口腔内が関心が高いというイメージ。 患者の期待値 - 実際 = 格差がある。宮本先生のプレゼンが実際に見るとかなりプロフェッショナルであると感じました。 今後のコースの中で、メンテナンスについて皆さんが記憶しているのを求めています。
Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』 発症前にリスクを知る。どのリスクにペイするかが、エビデンスベースで皆さんに聞いてもらいます。 まだ多くの歯科医師が目指しているように思えます。 患者さんのリスクを知る。インプラントを感しました。
Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』 前歯部のインプラントにおいては審美的な要求が大きいのでしっかりと計画を立てて行かないと重要なポイントがエビデンスに基づいた治療。治療後のDHのメンテナンスも適切なものがなければなりません。
Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』 前半は昨日のMcGuire先生のレクチャーと重なるところが多々ありました。 途中出てくる動画はScheyer先生の二趣味でしょうか？笑 症例に関してはどのケースにおいても写真等の記録、資料がしっかりとあることが経過が見えて下さるかとあります。資料、記録は大切であることがわかります。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科衛生士

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

インプラントが成功しても、その後のメンテナンスの重要性を患者に理解してもらうことが大事であり、衛生士として意味のあるメンテナンスをしていくこと、またDr.との連絡をとっていくことが大事だと感じたのを思い出した。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

現状での予後予測し、実際どうだったのかみていくこと、また重度でやうとってハイリスクと決まっていながらで気づけなかったと思いました。
早期発見、注意深くモニタリングすることに関心した。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

セメント固定とスクリュー固定とセメント固定の方がインプラント固定のリスクが高くなる。
セメントの取れ残しで歯周炎が起こる。審美性の大切さ。
DHとして責任をもってメンテナンスしていかねばならないと思った。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

失った歯のメンテナンスが大事のように、
今後(インプラント後)のメンテナンスが大事という点。患者の認識度の変化。
電話対応から患者と関わりは増えているという点。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

知識は多少なりとも理解しきれない部分がありましたが、インプラントに対しての知識がDr.だけでなくDHやアシスタントの時にももっと深く身についていることが大事だと感じました。どのようにメンテナンスしていったらいいのか、技術向上のためにはどうしたらいいか。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種：歯科衛生士

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

「エクストルーションすることによって骨を再生させ、インプラント埋入する」のを初めて見て、 こういう方法もあるのか、と思い勉強になった。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

歯周炎のリスクをエビデンスを基に一つ一つ話を下され、すごくわかりやすかった。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラントの埋入ポジションやGBRの際の補填剤など、全てがエビデンスがあり結果が出ていて、参考になった。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

根面被覆のopeを見たのが初めてだった。短期的だけでなく、長期的にも安定していて、勉強になった。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種：歯科衛生士

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス：

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

GPから専門医にくる患者は、~~なぜ専門医に行くのか~~ ^{理由} ~~認識もせずして~~ 来完しているものだと思っていた。GPによるものだと ~~違~~ ^違う ~~こと~~ ^{こと} におどろいた。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスク評価をしっかりと行うことが大事であり、リスクに応じて分け、患者教育も大切であること。

臨床で、とても大切なことを教えてもらった。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント周囲炎の発症率 9.6% ~~の中~~ ^{の中}には、私たちがセメントを残していることによるものであれば、私たちの責任というのはとても大きなものであることを改めて認識した。こんなことがあってはいい。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果：患者の為のコラボレーションケアとは』

ホープレスなどの診断が ~~的~~ ^的 確で、~~患者の~~ ^{患者の} 最適な治療法を ~~選択~~ ^{選択} している。日本で あれば、歯を残すということのし方が 違うの？
診断が 違 ~~う~~ ^う と 改めて 実感。他との コラボレーションも ~~強~~ ^強 くなった。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

海外の先生方のお話をきいて、とても勉強になった。

日本との違い、診断基準、事前準備 どれにおいても勉強になった。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科衛生士

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

DrとDHの連携、チームワークが重要ということ、何より、治療で良い結果を得るために炎症のコントロールが重要だということも再認識することができました。

そのためにはDHとして、患者さんへの指導、モチベーションの維持をし続ける必要がありそうです。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

重度の患者を見つけないリスクと悪い結果が、リスクを重症度ではないというお話を聞いて、リスク評価、評価後の理解が最も重要だと思いました。

正しいリスク評価をして、1リスクでも症状がまだ出ていない人を見逃さないようにしなければいけないと思いました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント周囲炎のお話で、上部がセメント固定だとセメントの取りのこに注意(周囲炎のリスクが上がる)ということ、メンテナンスのケアに気を付けたいと思いました。

全部装着時

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

いろんなDrとの連携、コラボレーションで患者さんにとって審美的にも機能的にも改善が必要だと感じました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

リスク評価の必要、重要性を再認識でき、患者さんとリスクに合った治療での適切な話し合いに活用してもらいたいこと、患者さんが思い描いている治療後の状態を知るためにも、コミュニケーションも必要だと感じました。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種：歯科矯正士

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス：)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮したDecision Making/長期予後の為のMaintenanceの意義』

長期予後の大きなポイントが、DHによるメンテナンスの重要性が分かりましたが、実際どのような内容が

具体的にありよかったです。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

重症度のリスクは違うという事。そのリスクの中にはメンテナンスを行っても歯牙の損失がある

重症リスクがあるという事は必ずでした。1-1をメンテナンスの重要性をすべてに調べる事ができたらいいと思いました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

院長が立っていた治療計画が非常に詳しく知ることができました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

歯科医院の中のDHの役割とはただメンテナンスでクリーニングするだけでなく、患者教育にもとても

大きな役割を担っているという事を再考しました。いくつかの症例を見せさせていただいたため、

そのFinal後1年〜5年経過の写真が出てくるが、その時どのようなホームケアで、どのような間隔でメンテナンスをしたのかという情報も非常にわかりやすかったです。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

長期予後の為にはメンテナンスが必須だという事は昨今では明確にもかわります。

メンテナンスの実態(エビデンスに基づく)のお話の割合が非常に少ないと思います。

悩んでいるDHも多いと思いますのでDrと一緒に聞く機会が増える事を望みます。

もしそういったコースがあればご紹介したいです。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種: DH

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス:) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

インプラントのメンテナンスの中で「コンタクトレンズ」のお言葉は
すぐ「患者さんにも伝えられるなあ」と思いました。
天然歯とインプラントの違いについて考慮して DH としてかかっていたいと思
いました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスクを把握する事の大切さを知りました。
リスク因子に「本歯」や「VD」などもあるという事を今まで知らなかったの
でとても勉強になりました。因子を把握して治療計画を立てていきたい
です。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント治療もリスクを評価して
「どうせ」必要がある事を知ることができました。
● オペの DVD もみられてとても勉強になりました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果: 患者の為のコラボレーションケアとは』

昨日の Dr. McGuire の講演をさらに深く理解
することができました。
自分のビジョンをかいてみたいと思います。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

この2日間たくさん学ぶことが出来ました。
まずは自分の考えを変えて「歩む」すんでいきたいと思
います。
次回からの PHIJ を楽しみにしています。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種: 歯科衛生士

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス:) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

衛生士が行うインプラントのメンテナンスを最大限の効果を出すためには、アバメントの種類とメンテで用いるインスツルメントを考慮する事がトピックが とても印象に残りました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

Riskと疾患の重症度に関する関係はないというお話。頭ではわかっているが、臨床に出るとつい忘れてはり事項です。

私たち衛生士が本来すべき事は、High Riskでまた発症していない患者さんを見つけ、^{疾患}発症の兆候を未然に防ぐことという事が再確認できました。またリスクの重み付けが大切という事を再確認することができました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント周囲炎の原因がセメントの取り残れが考えられるという点、インプラント治療というものが従来の修復のくり返しの末に達するという事は、後処理などという事が改めて私たちが疾患を未然に防ぐ事ができる仕事に従事している責任を改めて突然衛生士ができました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

GP-専門医・衛生士・患者がチームとなって1つのゴールに向かっていくにあたって必要な事がRelationshipである。また直接患者に向き合う時間が長い衛生士たちの向上心というものがなければ患者の教育もうまく出来るのはDrの力量を発揮する場が少なくなってしまうという事を心づくしに毎日の臨床に挑むことを思いました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

とても貴重なお話を多く機会をいただきありがとうございました。

これから半年間 ようしくお願い致します。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科衛生士

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

インプラントだけにこだわらず、矯正治療など、その患者さんの状態に合わせて処置をすることが大切だということが印象に残りました。特に先生が繰り返してお話されていた、炎症のコントロールというのが、衛生士にとって一番重要なことだと思いました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

今疾患がないからといって、ローリスクなわけではない、ということが一番印象に残りました。普通の臨床で、特に~~処~~所見がない方に対して、リスクが高いと判断しがちになってしまっていたが、その方もリスクが隠れている可能性があるがあるので、それを見極めていく必要があると思いました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

60代の女性の写真が印象に残りました。模型上だけでなく、スマイルラインや発音、噛み合わせ、総合的に判断していくことが大切なのだとわかりました。また患者さんと十分にコミュニケーションをとることが、治療を円滑にするのにつながるのだと思いました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

専門医や~~歯科衛生士~~、DH、Dr. がチームとして治療に携わることが大切なのではないかと思いました。それぞれが自分の役割を~~はたしつ~~ コミュニケーションを充分にとることが、最善の治療につながるのだとわかりました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

全体を通して、疾患が今発症していない = ローリスクではないということが一番印象に残りました。発症前の段階でリスクを見極め予防をすすめることの大切さがわかりました。患者さんとのコミュニケーションを密にして適切な治療がすすめられるようにしていきたいと思っています。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種: 歯科衛生士

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか?
・はい (メールアドレス:) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』
患者さんが考える理想と治療が終了したあとの結果でギャップが生じてしまうのは歯 患者さんにとってのショックは大きいのだと思う。そのギャップを埋めるには、しっかり患者さんの要求を聞き、ハッピーに思っているような治療計画が大切だと感じた。ハッピーな治療結果が得られればそれを維持させていくのは、DH の役割だなと思いはれた。その人にとっての最高の結果をどうするかは大切だなと思いました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』
プラークの量や歯肉の炎症のハイリスクと評価していた。患者さんの 1人1人のリスクとしっかり向き合っていくことで、予後を変化していくのだと感じました。リスクに依じた Maintenance、Hygiene をしていく必要がある。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』
患者さんに伝えたインプラント計画は、患者さんとコミュニケーションをしっかりとることで「スケア」と感じた。治療計画時にその人の最高を知っていたことでとても大切だと思った。リスク

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』
以前と今の歯科技術の進化はすごいと思った。現在もまだ新しい技術ができてきて、歯科業界のこれからどんどん変わっていくのを感じた。症例をたくさん見て、その人それぞれの最高のフィニッシュをくりあげていくのはすごい。色々な症例が参考になりそう。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

衛生士になって日が浅く、全然知識がないのですが、たくさん症例をみれば強くなります。患者さんに満足を与えられるように頑張りたいと思いました。患者、Pr、DH、スタッフ、すべてがチームになって連携を大切にしてほしい。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種：歯科衛生士

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス：)

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

DHとして、Pcさんがホムリアーのしゃあい形態がでかく、Pcさんがインプラントを入れ最終補綴をいとき審美を気にされる方は多く感じます。今まで、リットクリザベーションを、何度か見てきましたが、骨を造るだけと思っておりましたが、長期予後にどのような影響があるか、今日、初めて知ることができました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスク診断は別、というの、何となく OHI-S を使うと分かりますが、今日は遺伝子にまでふみ込んだお話だったので、おもしろかったです。
若い子はリスクがあっても、お金のほうが強いので、理解している人は、数少ないですが、こんな風に自分でいこうと思ってきました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント周囲炎は、メンテナンスPcをみてる中で、つねに気をツツておかなければいけません。中で、補綴物Set時のセメント除去をいかにかんがり事がまず第一に重要であり、又、Pcに合わせ(注例)てや、いく事が大切だと思ってきました。セメントの残しで炎症も起きてくるのだなと思ってきました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為の Collaboration ケアとは』

Dr. DH、Pc、助手などみんながチームになり、てや、て行くことが大切だと思ってきました。
色々な方法がある中で、Dr. がそのPcさんに対して必要かを考えて、一番いい方法をとる事。DH周りのコミュニケーションが大切だと思ってきました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種： DA

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス：) ・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

インプラントのメインテナンスとコンタクトレンズの手入れと同じように考えていたのか
すごくわかりやすかったです。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

- ビタミンDの役割について
- メインテナンスの重要性をあらためて感じた。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

・インプラント歯周炎の原因はセメント固定だということ。
・フックアップの重要性

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果：患者の為のコラボレーションケアとは』

・コラボレーションで治療とケアことのメリット
・DHとのベネフィット

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014 年 10 月 5 日 (日) 開催

職種: 歯科医師

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい (メールアドレス: _____)

)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

EXT をする際に左右に動かすのはよくないと初めて知りました。

インプラントの周りのバネフィルムの除去の大仕事や、メインテナンスの重要性がよく分かりました。

メインテナンスの重要性を患者さんに説明するとき、目のコンタクトレンズと構造は一緒
と、話すのはとても分かりやすいと感じました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスクが分からないと、メインテナンスなどの期間が決めることが難しいと
あらためて思いました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラント周囲炎の原因はセメントの取り残しが怖いと聞いてびっくりしました。

当院はスクリューではなくセメントでつけているので気をつけなくてはいけないと感じました。

実際にインプラントオペしているときの動画をみて、広い範囲をセカンドリークしていた。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果: 患者の為のコラボレーションケアとは』

患者さんとのコミュニケーションだけでなく、チームでの関係性なども
大事なのだと思いました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

あらためて明日からいかにすることはしていきたい。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 歯科助手

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

- ・頬側歯槽骨の重要性(やり方)をよく知りました。(あまり、こまめにしない！)
- ・バイオスルムのEとE(コンタクトレス)で、よくわかりました。
- ・リゾプラインは、とても重要ですね。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

- ・Riskの高い人でも、メンテナンスをしっかりすればいい。
- ・Risk Factorsが重要ですね。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

- ・ポケットのディセメントの取り残し、気を付けなければいけない。
- ・周囲炎の予防にもよくわかりました。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

- ・治療するにあたって、患者さんにも予約を早くから、健康に対する理解を深めたい。そのためにコミュニケーションを大事にしたいですね。
- ・また、新しいインプラント本体が出来るようですね。期待しています。
- ・新しい情報を一早く取り入れ、患者さんに、シェアして下さるような医院にしたいですね。
- ・もちろん、自信をもって、予防の事も、"ウェルネス"と言ってもらえるような医院にしたいです。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

私にとって、今回の講演会の内容は、とても勉強になりました。特に、インプラント open ポジションについて、これまで、ほとんど知らなかったことが、明日から早速使った目で内容を見、理解できると感じます。おねどうござります。

Dr. McGuire and Dr. Scheyerの講演、とても勉強になりました。

Thank you!

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 受付

PHIJ ではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

患者さんの期待と実際の治療に差があると患者さんの不満は大きくなるので、患者さんの最終どうなりたいのかというゴールに対し、予知性の高いものを提供する、という点が印象に残りました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスク評価の重要性、疾患の重症とリスクは関係なく、リスクが分かっているといふ治療が過剰にないで不足しているという点になるという点。ハイリスクでありながらまだ発症していない人に予防処置をし発症させない。リスクの見極めの大切さが伝わりました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

インプラントの成功においてリスク評価がいかに大切か。患者の時間や経済などの強い要求に対してもふり回されず慎重にタイミングを計るべき。最初の段階から丁寧にエビデンスにのっとりアプローチしていくことで予知性の高い医療を提供できるという点。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

患者さんとの関係性においては電話予約の時点から始まっている。実際の口を見る前までの効率的な情報収集etc スタッフ一同コミュニケーションスキルが大切であるという基本的な点は明日から改めて気をつけたい実践できる点だと思いました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

スワカ先生、シャイヤ先生からの直接の講義は大変貴重な経験で感謝しております。エビデンスに基づいた治療計画、リスク評価の大切さ、患者さんの希望、ゴールラインにおいてコミュニケーションの大切さが4人の先生の共通であり医療価値をいかに伝えるかという点で勉強になりました。

ご協力ありがとうございました。

PHIJ (Perio Health Institute Japan) DENTSPLY Implants 特別講演会
「科学的根拠に基づく歯周専門医のディシジョンメイキングとは」

2014年10月5日(日)開催

職種: 受付

PHIJではベーシックコース@福岡、アドバンスコース@ヒューストン、カダバーコース@オマハを主催しています。今後、開催日程の連絡を希望しますか？

・はい(メールアドレス:)・いいえ

各演題で特に印象に残った点や感想などをお書きください。

Dr. 宮本『インプラント前歯部治療における頬側歯槽骨変化を考慮した Decision Making/長期予後の為の Maintenance の意義』

バリエーションの幅はとては、コンタクトレンズのたとえになるかと、
思いました。一般の人にもわかりやすいたとえだと思いました。

Dr. McGuire『治療のディシジョンメイキングにおけるリスク評価と予後の与える影響 Decision Making』

リスクと判断は果敢、言葉に、改めて、日々、医院での患者さんへのリスク評価
は、ちゃんとできているのかしら、と、考えさせられました。
私たちの仕事は、~~患者さん~~「生活にわたって歯を維持する」の目的の為に
あるのだと、再認識しました。

Dr. 築山『リスクアセスメントに基づく的確なインプラント治療計画』

オペの映像、歯肉はく離の場面は少し驚きでしたが、ナトリルヒューターが
完成されたのは素晴らしいです。

Dr. Scheyer『患者紹介制度の歯周専門診療所から創造される最適な治療結果:患者の為のコラボレーションケアとは』

自分の医院は、他に何が違うのか、どうすればブランド力をもつことが出来るのか
考えさせられました。「患者との関係は最初の電話から始まる」受付にいる
わたしには、心に強く響きました。

全体を通しての感想、要望などをお書きください。

おもしろい話しもわかりやすく話していただき、
楽しい時間でした。
ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。